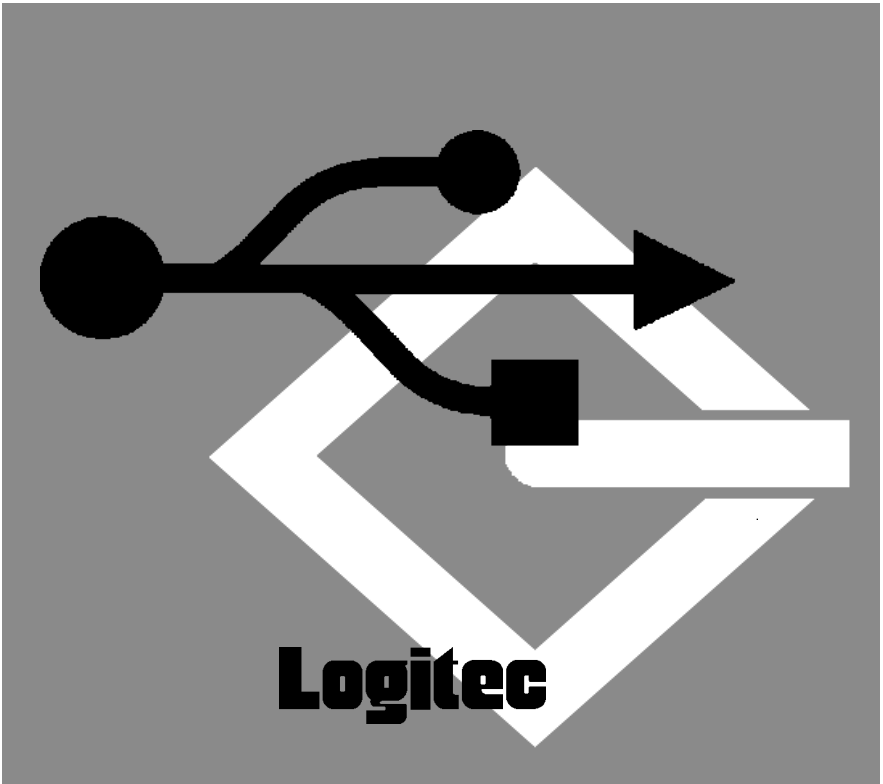


USB-SCSI CABLE

USB-SCSI変換ケーブル・ ユーザズマニュアル

LUB-SC



目次

取扱い上のご注意	1
ごあいさつ	2
ご注意	2
ロジテックソフトウェア使用権許諾契約書	3
用語について	4
Macintosh 編	5
Windows 編	41

付属品の確認

USB-SCSI 変換ケーブル	1 台
「LogitecWare」CD-ROM	1 枚
USB-SCSI 変換ケーブル・ユーザーズマニュアル	本書
保証書 / ユーザー登録カード	1 枚

上記は USB-SCSI 変換ケーブル単体販売の場合の付属品です。
SCSI 機器に同梱されている場合の付属品は、SCSI 機器のマニュアル、または補足説明等をご参照ください。

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。



この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

ケースは絶対に分解しないでください。内部には感電の危険性がある部分もあります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



分解禁止

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。



水濡れ禁止

衝撃や振動の加わる場所、高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。



その他の注意事項

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用した環境でデータがハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって失われた場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* Windows は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。Apple、Macintosh、Mac、PowerBook、iMac、iBook、MacOSは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

用語について

本書では以下のような用語を使用します。

HD ユニット

外付け SCSI ハードディスクドライブを指します。

MO メディア

3.5 型光磁気ディスク (Magneto-Optical Disk) そのものを指します。

MO ユニット

3.5 型光磁気ディスクを使用するための外付けドライブを指します。

MO/HD ユニット

外付け 3.5 型光磁気ディスクドライブと、外付け SCSI ハードディスクドライブを総称した呼び方です。

SCSI 機器

本書で「SCSI 機器」という言葉を使用した場合、特に指定がない限り MO/HD ユニットと CD-R/RW ユニットを指します。

USB コネクタ

USB (Universal Serial Bus) インターフェースに機器を接続するためのコネクタです。USB コネクタには 2 種類の形状があります。パソコンに近い方のコネクタを「シリーズ A コネクタ」と呼び、断面が平たい形状をしています。パソコンに遠い方 (機器側の) コネクタを「シリーズ B コネクタ」と呼び、断面が正方形に近い形状をしています。

Macintosh 編

第 1 章 製品のご紹介	7
1 . 1 製品概要	7
1 . 2 使用環境	8
1 . 3 ドライバと動作モードについて	10
第 2 章 USBネイティブモードで使用する場合	12
2 . 1 ドライバのインストール手順	12
2 . 2 接続について	16
2 . 3 専用フォーマットについて	19
2 . 3 . 1 MOメディアのフォーマット手順	19
2 . 3 . 2 HDユニットのフォーマット手順	23
2 . 4 取り外しなどに関して	26
第 3 章 SCSIエミュレーションモードで使用する場合	28
3 . 1 ドライバのインストール手順	28
3 . 2 接続について	32
3 . 3 接続後の作業	35
第 4 章 トラブルシューティング	36
ハードウェア仕様	39

Logitec

第 1 章 製品のご紹介

1 . 1 製品概要

本製品は、アップルコンピュータ社 Macintosh シリーズ (USB コネクタを搭載した機種) に接続できる USB-SCSI 変換ケーブルです。

本製品の特徴

USB 対応の Macintosh 本体に SCSI 機器を接続することができます。

ドライバとして、USB ディスクドライバとエミュレーションドライバの 2 種類が添付されています。

USB ディスクドライバは、USB に最適化されたドライバです。ただしこれを使用した場合、本製品に接続できる機器は、MO/HD ユニットを 1 台だけに制限されます。

エミュレーションドライバは、本製品を SCSI インターフェースとしてシステムに認識させるドライバです。これを使用すると、複数の SCSI 機器 (MO/HD ユニット、CD-R/RW ユニット) をデジチェーン接続することができます。

各ドライバの詳細については、「 1 . 3 ドライバと動作モードについて」をご参照ください。

USB-SCSI 変換ケーブルに内蔵された変換回路は、USB コネクタからのバスパワーで動作します。AC アダプタ等が必要ありませんので、すっきりと接続することができます。



ご注意

- ・本製品を接続するUSBコネクタは+5V500mAの電源を供給できるものでなければなりません。バスパワーで動作するUSBハブや、Macintoshシリーズのキーボードに実装されたUSBコネクタには、電流量が足りないため接続できません。
- ・本製品に接続したMOユニットでは、スーパーフロッピー形式でフォーマットされた640MB、1.3GB MOメディアを扱うことはできません。(これは「PC Exchange」、「File Exchange」の制限ですので、Macintosh形式であれば問題ありません。)

1.2 使用環境

パソコン環境

本製品は以下のようなパソコン環境でご使用ください。

パソコン本体

アップルコンピュータ社 iMac

Power Mac G4

Power Macintosh G3 (Blue & White)

iBook

PowerBook G4

PowerBook (FireWire)

PowerBook G3 (BronzeKeyboard)

メインメモリ

32MB 以上

ハードディスク

1MB 以上の空きがあること

OS

Mac OS 8.1 ~ 9.2.2 まで (*1)

*1 OSは日本語OSに限ります。また、iMacシリーズでMac OS 8.1を使用する場合は、「iMacアップデート1.0」でアップデートする必要があります。

アップデートが必要かどうか確認したい場合は、「アップルメニュー」「Appleシステム・プロフィール」で「装置とボリューム」タグを選び、USBのバージョンを確認してください。これが「1.0.1」以降でない場合は、iMacアップデート1.0でアップデートする必要があります。

SCSI 機器

弊社から発売されている SCSI 機器のうち、D-sub ハーフピッチ 50 ピンの SCSI コネクタを持つ HD ユニット、MO ユニット、CD-R/RW ユニットについては本製品との接続が確認されています。



ご注意

- ・上記以外の SCSI 機器についても、順次接続確認が行われています。最新情報については弊社ホームページをご参照ください。(すべての SCSI 機器を確認することは不可能ですので、一部に対応できない機器が存在する可能性があることはご承知おきください。)
 - ・CD-R/RW ユニートを接続するためには、エミュレーションドライバを使用しなければなりません。USB ディスクドライバは使用できません。
 - ・CD-R/RW ユニットで CD-R/RW メディアに書き込みを行う場合、USB の転送速度が SCSI よりも遅いため、以下のような制限が発生します。
 - ・本製品を USB ハブ経由で接続しないでください。Macintosh 本体の USB コネクタに直接接続してください。
 - ・書き込み時には、本製品に CD-R/RW ユニット以外の SCSI 機器を接続しないでください。また、不要な USB 機器はなるべく接続を外しておいてください。
 - ・書き込み速度は 2 倍速以下に制限されます。ライティングソフトウェアで 2 倍速を超える速度が表示される場合でも、2 倍速を超える速度は選択しないでください。
 - ・書き込み速度が 2 倍速以下であっても、オンザフライ書き込みやオンザフライでの CD のバックアップはできない場合があります。
 - ・ISO9660 の CD-R/RW 書き込み時などに使用されるイメージファイル保管用のハードディスクは、USB-SCSI 変換ケーブルに接続しないでください。
-

1.3 ドライバと動作モードについて

本製品には以下の2種類のドライバが添付されています。どちらのドライバを使用するかによって、本製品の動作モードが2種類に分かれ、SCSI 機器に対する制限や接続形態などが変わります。

USB ディスクドライバ

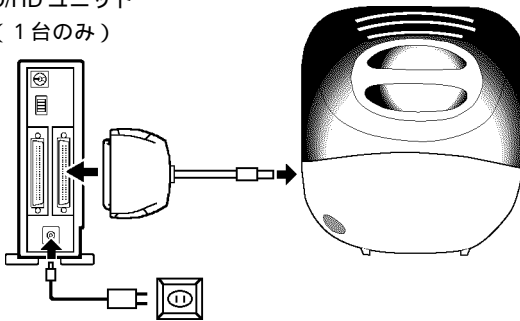
このドライバをインストールすると、本製品はUSBに最適化された「USBネイティブモード」で動作します。このモードでは、本製品はSCSIインターフェースとしてシステムに認識されません。そのため本製品に接続されたMO/HDユニットは、システム側から見るとあたかもUSB仕様の補助記憶装置に見えます。

このモードのメリットはUSBに最適化されているため、ホットプラグが可能である点です。また、MO/HDユニットのフォーマットには、本製品付属の専用フォーマッタを使用することができますので、別売のソフトウェアは必要ありません。

ただし、このモードには以下のような制限があります。

- ・接続できる機器はMO/HDユニットのみです。CD-R/RWユニットを接続することはできません。
- ・接続台数は1台のみです。通常のSCSIインターフェースのようにダイジェチェーンで複数のSCSI機器を接続することはできません。

MO/HD ユニット
(1台のみ)

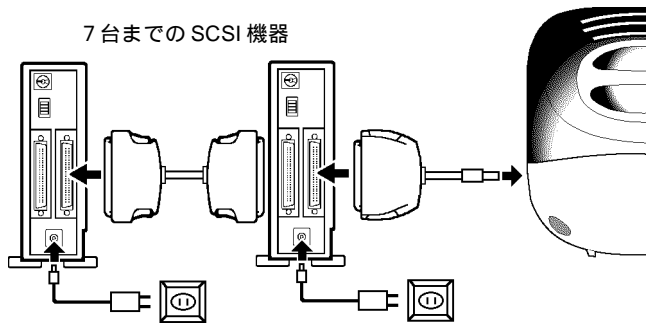


エミュレーションドライバ

このドライバをインストールすると、本製品は「SCSI エミュレーションモード」で動作します。このモードでは、本製品が SCSI インターフェースとしてシステムに認識されます。

このモードのメリットは7台までの SCSI 機器 (CD-R/RW ユニットを含む) を、本製品にデジチェーン接続できることです。(ただしケーブル長の制限があるため、常に7台接続可能なわけではありません。)

逆にこのモードのデメリットは、本製品が完全に SCSI インターフェースとして認識されるため、ホットプラグができない点です。



本製品に MO/HD ユニートを 1 台だけ接続する場合は、「USB ディスクドライバ」をご使用ください。この場合のドライバのインストール手順や接続方法については、第 2 章をご参照ください。

本製品に CD-R/RW ユニートを接続したい場合や、複数の SCSI 機器をデジチェーン接続したい場合は「エミュレーションドライバ」をご使用ください。この場合のドライバのインストール手順や接続方法については第 3 章をご参照ください。



ご注意

2つのドライバはどちらか片方しか使用することができません。仮に両方のドライバをインストールしようとする、最初にインストールされたドライバが自動的に削除されてから、2番目のドライバがインストールされます。

第2章

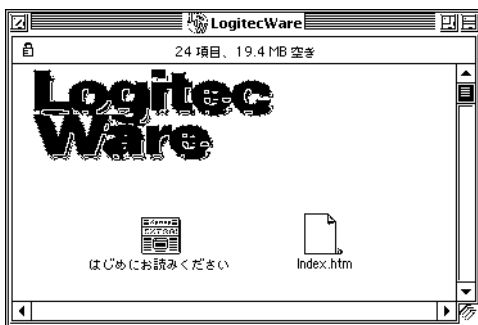
USB ネイティブ モードで使用する場合

2.1 ドライバのインストール手順

Point

本製品を USB ネイティブモードで使用する場合は、本製品を接続する前に以下の手順で付属の USB ディスクドライバをインストールしなければなりません。

Macintosh のシステムを起動して、本製品付属の「LogitecWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。下のウィンドウが開いたら、「Index.htm」のアイコンをダブルクリックして開いてください。



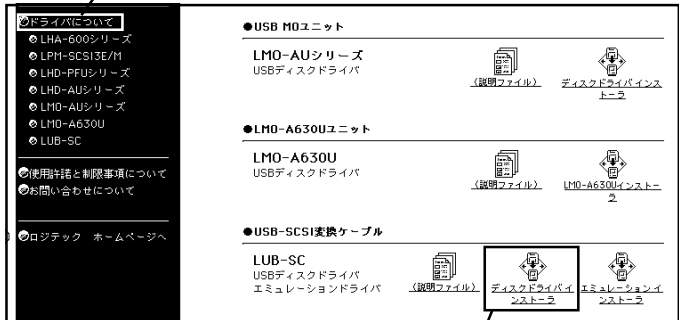
以下のようなウィンドウがブラウザで表示されます。



ここで、左のメニューから「ドライバについて」という項目をクリックしてください。

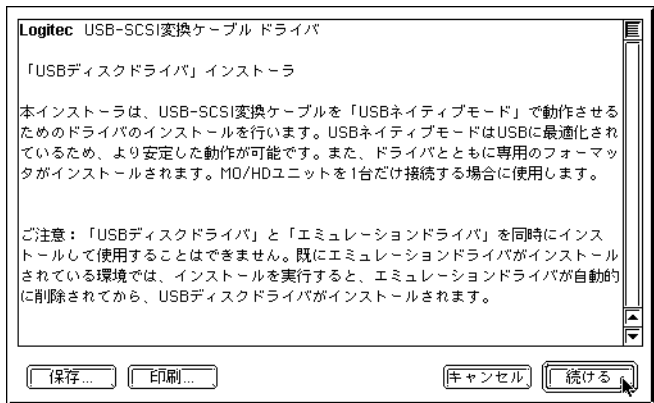
右に収録されたドライバの一覧が表示されたら、これをスクロールして「LUB-SC」を探し、「ディスクドライバインストーラ」と書かれた部分をクリックしてください。

1. この部分ををクリック



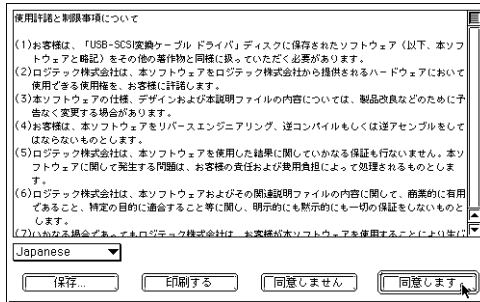
2. この部分ををクリック

インストーラが起動して、注意事項が表示されます。内容を確認して、「続ける」と書かれたボタンをクリックしてください。

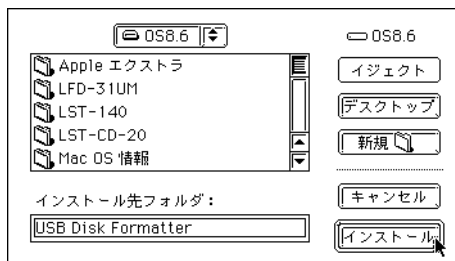


2.1 ドライバのインストール手順

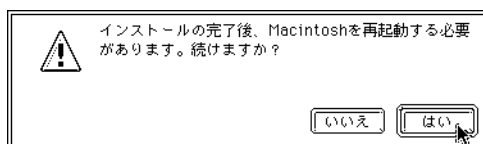
著作権と制限事項が表示されます。内容を確認して、同意する場合は「同意します」と書かれたボタンをクリックしてください。(ここで「同意しません」と書かれたボタンをクリックすると、インストールが中止されます。)



付属のフォーマッタをインストールするフォルダを選択するウィンドウが表示されます。初期設定では「USB Disk Formatter」というフォルダにインストールされます。特に支障がない場合は、そのまま「インストール」と書かれたボタンをクリックしてください。



インストールを続行すると、最後にシステムを再起動する必要があるため、以下のような警告メッセージが表示されます。他のプログラムなどが動作していないことを確認したら、「はい」ボタンをクリックしてください。

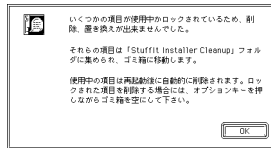


必要なファイルがハードディスクに転送されます。



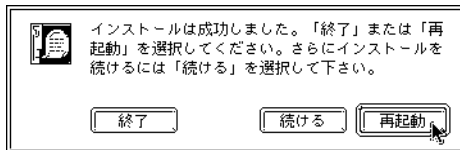
ご注意

「エミュレーションドライバ」「USBディスクドライバ」のように、ドライバの入れ替えを行っている場合、ファイルの転送中に以下のようなウィンドウが表示されます。これは使用中のドライバを書きかえるための警告メッセージですので、そのままOKボタンをクリックしてください。



2

作業が終了すると、以下のウィンドウが表示されますので、「再起動」と書かれたボタンをクリックして、システムを再起動してください。



システムが再起動したら、インストールは完了です。次に2.2節にしたがって本製品の接続を行ってください。



参考

USB ネイティブモードではホットプラグに対応していますので、接続時にパソコン本体の電源をOFFにする必要はありません。2.2節の手順も、上記の順に続いてパソコン本体の電源がONの状態での接続することを前提としています。

2.2 接続について

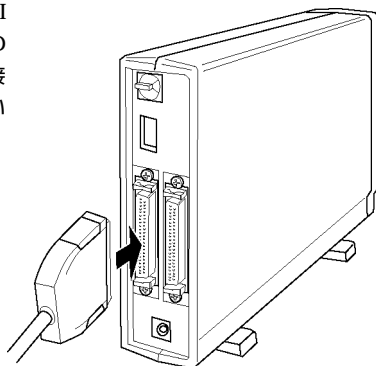
本製品をUSBネイティブモードで使用する場合、以下の手順でMO/HDユニット、USB-SCSI変換ケーブル、パソコン本体を接続してください。接続の順番を間違えると、MO/HDユニットが認識されない場合がありますのでご注意ください。

2

まず最初にMO/HDユニットの準備をします。MO/HDユニットは1台のみ接続可能です。

- ・IDナンバーは「1」～「6」の範囲で任意の番号に設定してください。
- ・MO/HDユニットにターミネータが内蔵されている場合は、これを「有効」に設定してください。(設定方法についてはMO/HDユニットのマニュアルをご参照ください。)MO/HDユニットにターミネータが内蔵されていない場合は、外付けのターミネータを接続してください。

USB-SCSI変換ケーブルのSCSIコネクタ(大きい方)をMO/HDユニットのSCSIコネクタに接続します。軽く引いて抜けないことを確認してください。



参考

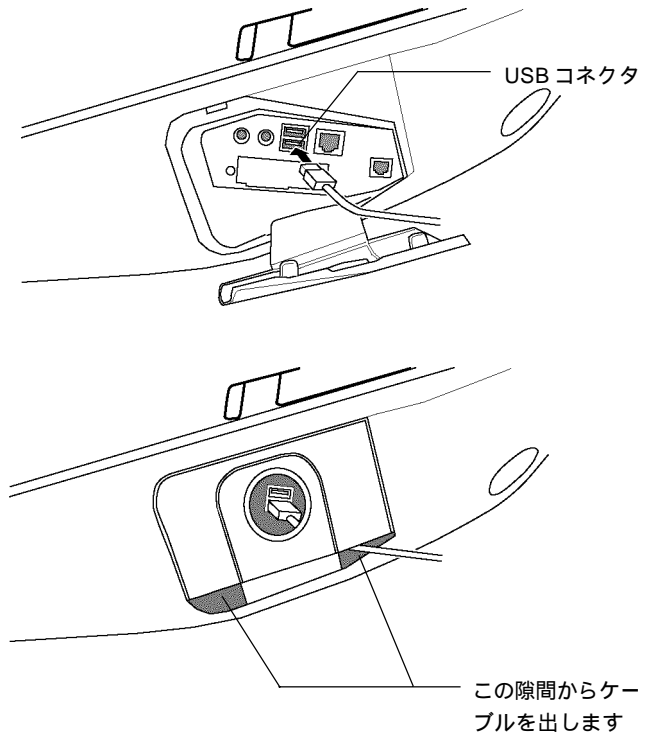
イラストはターミネータ内蔵のMO/HDユニットの場合です。ターミネータを内蔵していないMO/HDユニットの場合は、外付けターミネータを接続してください。

ここで、MO/HDユニットの電源をONにします。MO/HDユニットの電源表示ランプが点灯することを確認し、アクセス表示ランプが一時的に点灯した場合は、消灯するまで待ってください。

USB-SCSI変換ケーブルのUSBコネクタを、Macintosh本体のUSBコネクタに接続してください。このコネクタは正しい方向でしか接続できません。

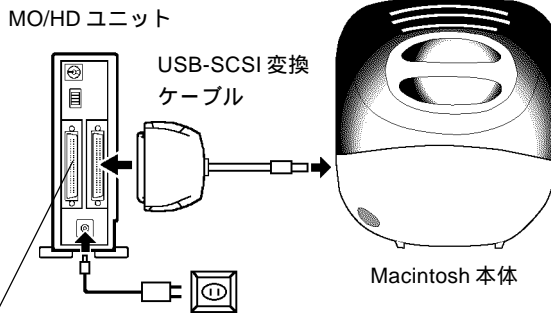
iMacシリーズの場合は、しっかり接続したらケーブルを挟み込まないように下部の隙間に逃がしてから、カバーを閉じてください。

2



以上ですべての接続は終了しました。

- ・MOユニットを接続した場合、Macintoshのシステムが起動していれば、この状態で接続したMOユニットを使用することができます。フォーマットされたMOメディアをMOユニットにセットすると、デスクトップ上にMOメディアのアイコンが表示されます。MOメディアのフォーマット手順は2.3.1節で説明します。
- ・HDユニットを接続した場合、HDユニットを使用するにはフォーマットを行わなければなりません。フォーマット手順は2.3.2節で説明します。



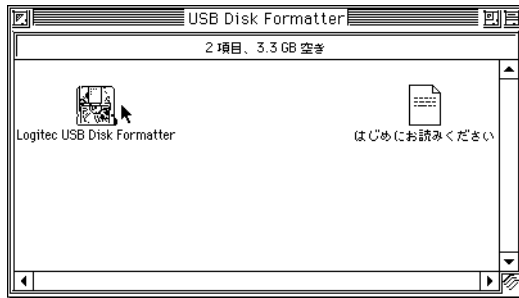
ターミネータを内蔵していないMO/HDユニットの場合は、ここに外付けターミネータを接続します。

2.3 専用フォーマットについて

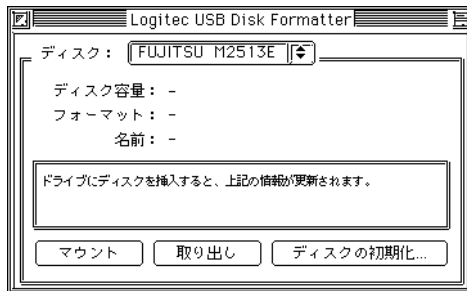
本製品をUSBネイティブモードで使用している場合、本製品に接続されたMO/HDユニットのフォーマットは、付属の専用フォーマットで行います。ここでは専用フォーマットを使用して、MOメディア、HDユニットのフォーマットを行う手順を説明します。

2.3.1 MOメディアのフォーマット手順

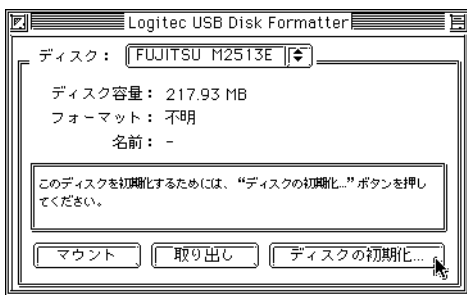
MOユニットを接続した状態で、ドライバのインストール時に作成された「USB Disk Formatter」フォルダを開き、「Logitech USB Disk Formatter」アイコンをダブルクリックしてください。



フォーマッタが起動して、以下のウィンドウが開きます。ここでMOユニットに、フォーマットしたいMOメディアをセットしてください。



セットしたMOメディアに関する情報が表示されます。ここで「フォーマット」が「不明」になっているのは、未フォーマットのMOメディアであることを示します。もし、この欄が「不明」以外のフォーマット形式になっている場合は、そのメディアはフォーマット済みです。再フォーマットしても良いことを確認してください。
問題なければ「ディスクの初期化」と書かれたボタンをクリックしてください。



参考

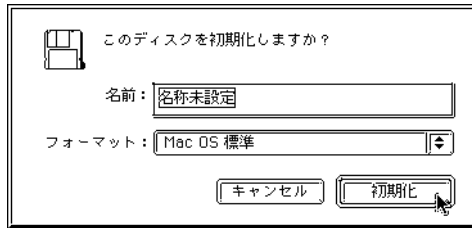
「マウント」と書かれたボタンは、何かの理由でマウントされなかったMOメディアのアイコンを強制的にマウントするためのものですが、フォーマットの際には使用しません。
「取り出し」と書かれたボタンは、MOメディアをイジェクトするためのボタンです。

以下のウィンドウが開きます。ここで必要に応じて「名前」を入力してください。また、「フォーマット」ではフォーマット形式を「Mac OS 標準」、「Mac OS 拡張」から選択することができます。

「Mac OS 標準」は、従来のMacintosh用フォーマット形式です。

「Mac OS 拡張」は、Mac OS 8.1以降でサポートされているMac OS 拡張フォーマットです。

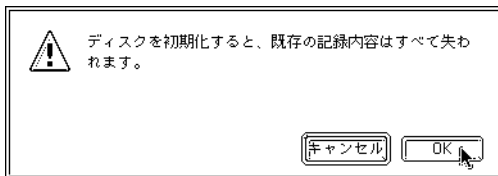
設定が終了したら、「初期化」と書かれたボタンをクリックしてください。

**Point**

ポイント

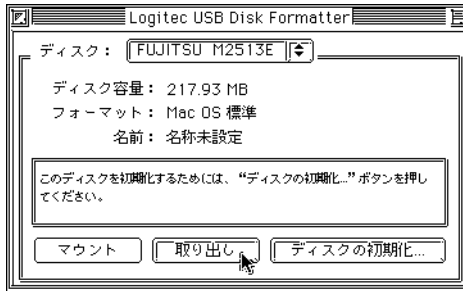
「Mac OS 拡張」でフォーマットを行うと、そのMOメディアはMac OS 8.0以前を使用しているシステムでアクセスできなくなります。データ交換などを目的とする場合は、「Mac OS 標準」でフォーマットを行ってください。

確認のメッセージが表示されます。フォーマットしても良いことを確認したら、OK ボタンをクリックしてください。



フォーマットが行われます。通常の場合、フォーマットは数秒で終了し、以下のウィンドウに戻ります。「フォーマット」が指定したフォーマット形式になっていることを確認してください。

必要に応じて、「取り出し」と書かれたボタンをクリックしてMOメディアを取り出し、「ファイル」メニューの「終了」を選択して、フォーマッタを終了してください。



以上でMOメディアのフォーマットは終了です。



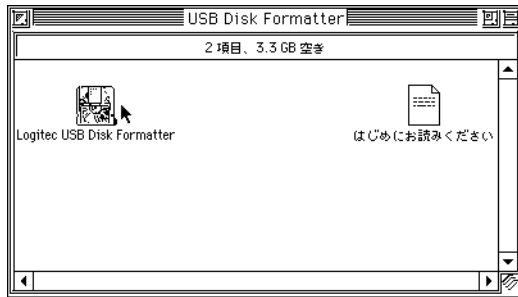
参考

一度、本フォーマッタでフォーマットを行ったMOメディアを再フォーマットする場合は、「特別」メニューの「ディスクの初期化」を使用することも可能です。

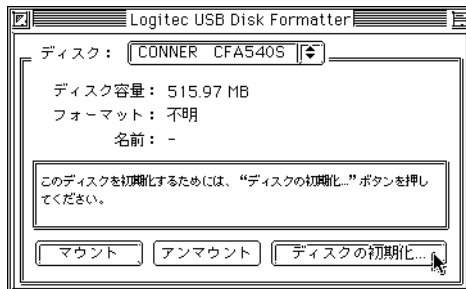
2.3.2 HDユニットのフォーマット手順

USB-SCSI 変換ケーブルで HD ユニットを Macintosh 本体に接続してください。(フォーマットされていないハードディスクを接続した場合は、接続が完了しても認識されません。)

ドライバのインストール時に作成された「USB Disk Formatter」フォルダを開き、「Logitec USB Disk Formatter」アイコンをダブルクリックしてください。



フォーマッタが起動して、以下のウィンドウが開きます。ここで「フォーマット」が「不明」になっているのは、未フォーマットの HD ユニットが接続されているためです。もし、この欄が「不明」以外のフォーマット形式になっている場合は、その HD ユニットはフォーマット済みです。再フォーマットしても良いことを確認してください。問題なければ「ディスクの初期化」と書かれたボタンをクリックしてください。





参考

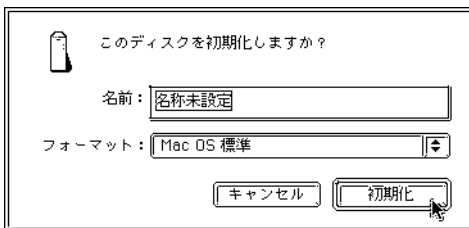
「マウント」、「アンマウント」と書かれたボタンは、HDユニットのアイコンを強制的にマウント、アンマウントするためのものですが、フォーマットの際には使用しません。

以下のウィンドウが開きます。ここで必要に応じて「名前」を入力してください。また、「フォーマット」ではフォーマット形式を「Mac OS 標準」、「Mac OS 拡張」から選択することができます。

「Mac OS 標準」は、従来の Macintosh 用フォーマット形式です。

「Mac OS 拡張」は、Mac OS 8.1以降でサポートされている Mac OS 拡張フォーマットです。

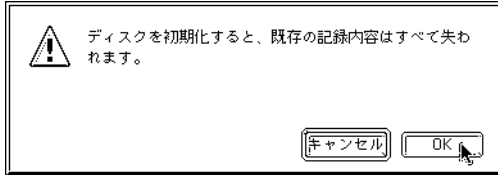
設定が終了したら、「初期化」と書かれたボタンをクリックしてください。



ご注意

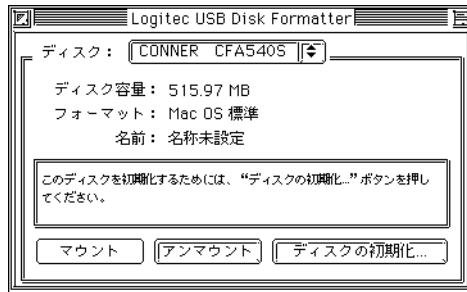
「Mac OS 標準」、「Mac OS 拡張」のどちらを選択した場合でも、USB ネイティブモードで使用するハードディスクを複数のパーティションに分割することはできません。

確認のメッセージが表示されます。フォーマットしても良いことを確認したら、OK ボタンをクリックしてください。



2

フォーマットが行われます。通常の場合、フォーマットは数秒で終了し、以下のウィンドウに戻ります。「フォーマット」が指定したフォーマット形式になっていることを確認してください。必要に応じて、「ファイル」メニューの「終了」を選択して、フォーマットを終了してください。



以上でHDユニットのフォーマットは終了です。

2 . 4 取り外しなどに関して

システムを終了していない状態で USB-SCSI 変換ケーブルを取り外すには

2

USBネイティブモードではホットプラグがサポートされていますので、システムを終了していない状態（Macintosh 本体の電源が ON の状態）で USB-SCSI 変換ケーブルを取り外すことも可能です。ただし、これを行う場合は以下の手順を踏んでください。

デスクトップ上に MO/HD のアイコンがマウントされている場合はこれをアンマウントしてください。アンマウントは以下のどれかの方法で行います。

- ・ MO/HD のアイコンをごみ箱のアイコンに重ねる。
- ・ MO/HD のアイコンを 1 回クリックして選択状態にし、「特別」メニューの「取り出し」を選択する。
- ・ MO/HD のアイコンを 1 回クリックして選択状態にし、「アップルキー + E」を入力する。

MO ユニットの場合、いずれの方法でアンマウントしても、MO メディアがイジェクトされますので、取り出しておいてください。

デスクトップ上に MO/HD のアイコンがなくなったら、USB-SCSI 変換ケーブルの USB コネクタを外してください。

MO/HD ユニットの電源を OFF にしてください。



ご注意

HD/MO ユニットのアクセス中には、絶対に USB ケーブルを外さないでください。

USB-SCSI 変換ケーブルを 接続した状態でシステムを終了するには

USB-SCSI 変換ケーブルを Macintosh 本体に接続した状態でシステムを終了する場合は、特にUSB-SCSI変換ケーブルを意識する必要はありません。Mac OS標準の手順でシステムを終了し、Macintosh本体の電源がOFFになったら、MO/HDユニットの電源もOFFにしてください。

すべての機器の電源がOFFになったら、必要に応じてUSB-SCSI 変換ケーブルを取り外してください。

第3章

SCSI エミュレーション モードで使用する場合

3.1 ドライバのインストール手順

Point

本製品を SCSI エミュレーションモードで使用する場合は、本製品を接続する前に以下の手順で付属のエミュレーションドライバをインストールしなければなりません。

Macintosh のシステムを起動して、本製品付属の「LogitecWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。

下のウィンドウが開いたら、「Index.htm」のアイコンをダブルクリックして開いてください。

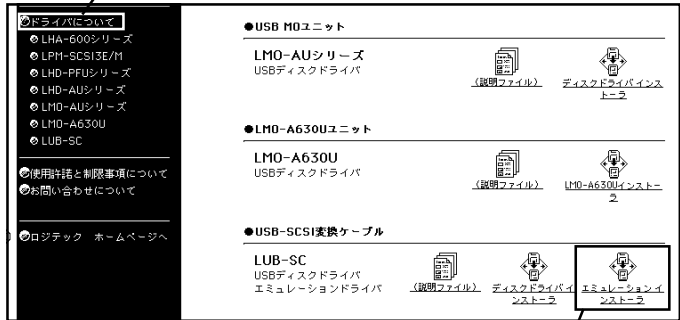


以下のようなウィンドウがブラウザで表示されます。



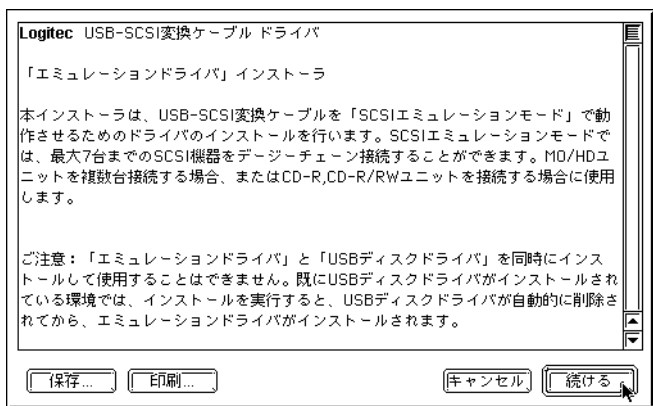
ここで、左のメニューから「ドライバについて」という項目をクリックしてください。
 右に収録されたドライバの一覧が表示されたら、これをスクロールして「LUB-SC」を探し、「エミュレーションインストーラ」と書かれた部分をクリックしてください。

1. この部分をクリック



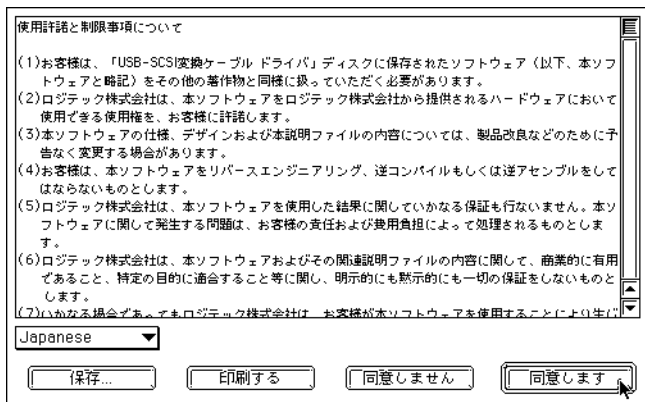
2. この部分ををクリック

インストーラが起動して、注意事項が表示されます。内容を確認して、「続ける」と書かれたボタンをクリックしてください。

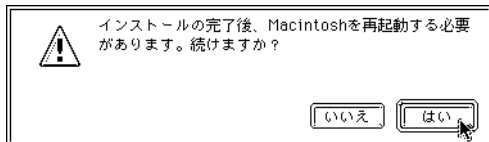


3.1 ドライバのインストール手順

著作権と制限事項が表示されます。内容を確認して、同意する場合は「同意します」と書かれたボタンをクリックしてください。(ここで「同意しません」と書かれたボタンをクリックすると、インストールが中止されます。)



インストールを続行すると、最後にシステムを再起動する必要があるため、以下のような警告メッセージが表示されます。他のプログラムなどが動作していないことを確認したら、「はい」ボタンをクリックしてください。

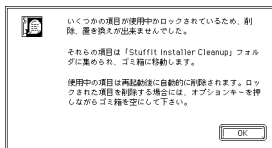


必要なファイルがハードディスクに転送されます。



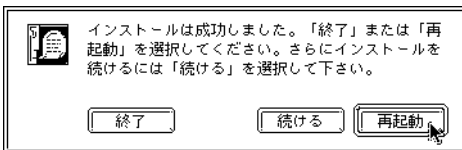
ご注意

「USB ディスクドライバ」「エミュレーションドライバ」のように、ドライバの入れ替えを行っている場合、ファイルの転送中に以下のようなウィンドウが表示されます。これは使用中のドライバを書きかえるための警告メッセージですので、そのままOK ボタンをクリックしてください。



3

作業が終了すると、以下のウィンドウが表示されますので、「再起動」と書かれたボタンをクリックして、システムを再起動してください。



システムが再起動したら、インストールは完了です。ここで、一度システムを終了してから、2.2 節にしたがって本製品の接続を行ってください。



ご注意

SCSIエミュレーションモードはホットプラグに対応していません。必ずパソコン本体の電源をOFFにしている状態で、接続を行ってください。

3.2 接続について

本製品を SCSI エミュレーションモードで使用する場合、以下の手順で SCSI 機器、USB-SCSI 変換ケーブル、パソコン本体を接続してください。接続の順番を間違えると、SCSI 機器が認識されない場合がありますのでご注意ください。

まず最初に SCSI 機器の準備をします。SCSI 機器は最大 7 台まで接続することができます。

- ・ SCSI 機器の ID ナンバーは 0 ~ 6 の範囲で重複しないように設定してください。
- ・ 終端(パソコン本体から最も遠い位置)に接続する SCSI 機器にターミネータが内蔵されている場合は、これを「有効」に設定してください。(設定方法については SCSI 機器のマニュアルをご参照ください。) SCSI 機器にターミネータが内蔵されていない場合は、外付けのターミネータを接続してください。
- ・ SCSI 機器同士を接続する SCSI ケーブルは、SCSI 機器に付属のものをご使用ください。もし SCSI ケーブルが添付されていない場合は、接続する SCSI コネクタの形状にあわせて別途ご用意ください。ケーブル長の合計と SCSI 機器の接続台数は以下の表に従いますが、ケーブル長はなるべく短くなるようにした方が動作が安定します。(ケーブル長には USB-SCSI 変換ケーブルの長さを含みません。)

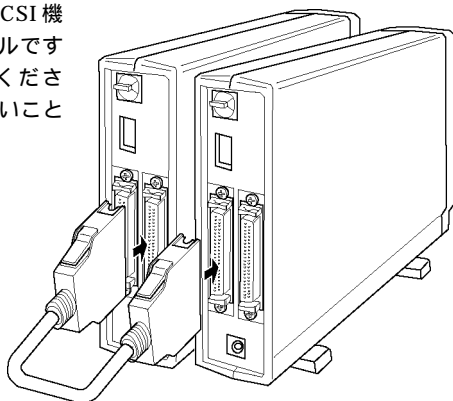
接続台数	ケーブル長の合計
3 台以下	3m 以下
4 台 ~ 7 台	1.5m 以下



ご注意

接続台数が多い方が条件が厳しくなるため、ケーブル長の合計は短く制限されます。

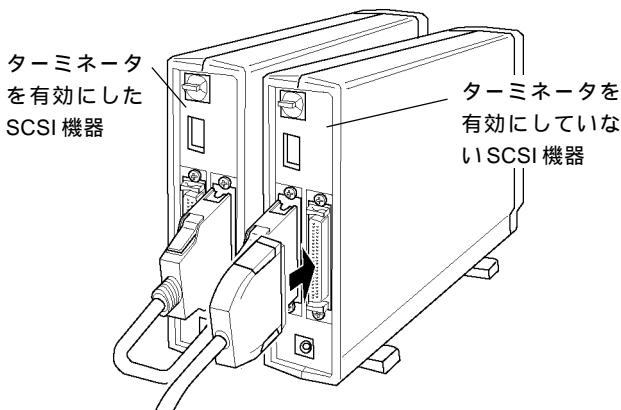
まず最初に接続する SCSI 機器同士を SCSI ケーブルですべて接続しておいてください。軽く引いて抜けないことを確認してください。



参考

イラストはターミネータ内蔵の SCSI 機器の場合です。ターミネータを内蔵していない SCSI 機器の場合は、外付けターミネータを接続してください。

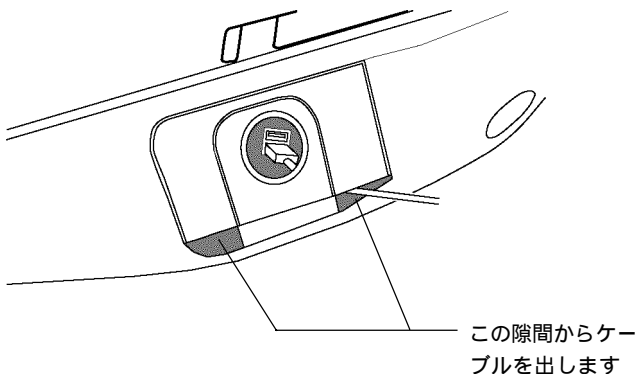
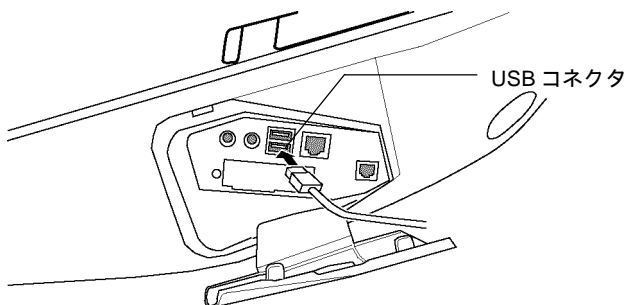
USB-SCSI変換ケーブルの SCSI コネクタ(大きい方)を SCSI 機器(ターミネータを「有効」にしていない方)の SCSI コネクタに接続します。軽く引いて抜けないことを確認してください。



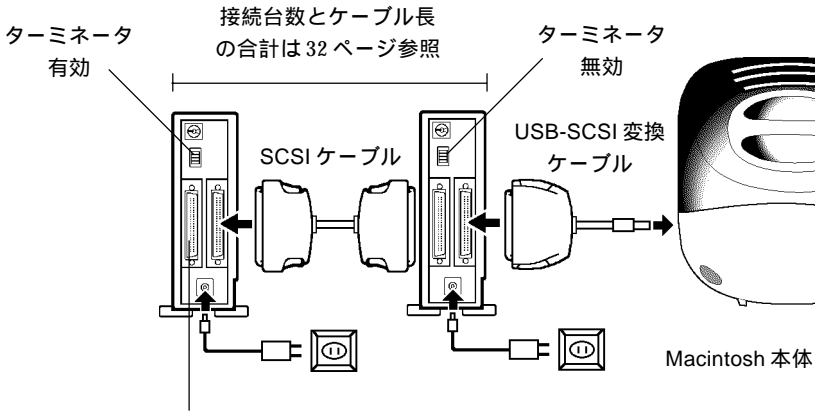
3.2 接続について

USB-SCSI 変換ケーブルの USB コネクタを、Macintosh 本体の USB コネクタに接続してください。このコネクタは正しい方向でしか接続できません。

iMac シリーズの場合は、しっかり接続したらケーブルを挟み込まないように下部の隙間に逃がしてから、カバーを閉じてください。



以上ですべての接続は終了しました。次ページの図と比べて間違いがないか確認してください。



ターミネータを内蔵していないSCSI機器の場合は、ここに外付けターミネータを接続します。

間違いがないことを確認したら、SCSI 機器 Macintosh 本体の順に電源を ON にして、システムを起動してください。



ご注意

SCSIエミュレーションモードはホットプラグに対応していません。接続を外す際には、必ずシステムを終了してください。

3.3 接続後の作業

MO/HD ユニートを接続した場合は、ソフトウェアキット「LKT-MACBC」に添付されたMacintosh用フォーマット「B'sCrew」をインストールしなければなりません。

CD-R/RW ユニートを接続した場合は、CD-R/RW ユニット付属のライティングソフトウェア「MacCDR」をインストールしなければなりません。

どちらの場合もそれぞれのソフトウェアのマニュアルを参照して、作業を行ってください。

「iMac アップデート 1.0」が必要かどうか確認したい。

「アップルメニュー」 「Apple システム・プロフィール」で「装置とボリューム」タグを選び、USB のバージョンが「1.0.1」以降であることを確認してください。これが「1.0.1」以降でない場合は、iMac アップデート 1.0 でアップデートする必要があります。

USB-SCSI 変換ケーブルで接続した

MO/HD ユニットが認識されない。

ケーブルの接続に接触不良などがないかどうかを確認してください。本製品の接続に USB ハブを使用している場合は、Macintosh 本体から本製品までの接続経路のうち、ケーブルが外れている部分がないかどうか確認してください。

SCSI エミュレーションモードで使用している場合（エミュレーションドライバをインストールしている場合） MO ユニットを認識するためには、Macintosh 用フォーマット「B'sCrew」をインストールする必要があります。

USB-SCSI 変換ケーブルで接続した

CD-R/RW ユニットが認識されない。

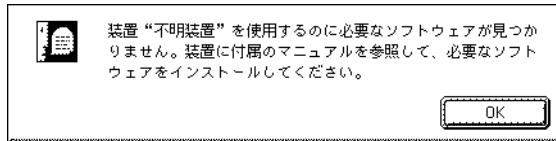
本製品を USB ネイティブモード（USB ディスクドライバ）で使用していませんか？ USB ネイティブモードでは MO/HD ユニットしかサポートされていません。エミュレーションドライバをインストールして、SCSI エミュレーションモードでご使用ください。（エミュレーションドライバをインストールすると、USB ディスクドライバは自動的に削除されます。）

CD-R/RW ユニットで書き込みエラーが頻発する。

2倍速を超える速度で書き込みをしようとしていませんか？ USBはSCSIよりも転送速度が遅いため、CD-R/RWユニット自体が4倍速以上の書き込みに対応していても、USB-SCSI変換ケーブルを使用した接続では書き込み速度が2倍速以下に制限されます。書き込み時にCD-R/RWユニット以外をUSB-SCSI変換ケーブルに接続し、それをアクセスしようとしていませんか？ 特にイメージファイル保存用のハードディスクをUSB-SCSI変換ケーブルに接続してはいけません。USB-SCSI変換ケーブルをUSBハブ経由で接続している場合は、USB-SCSI変換ケーブルをパソコン本体のUSBコネクタに直結して試してみてください。

本製品を接続すると、

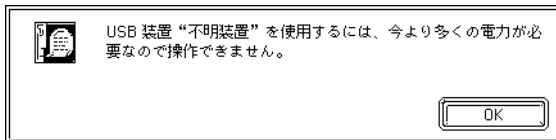
以下のようなエラーメッセージが表示される。



本製品のドライバがインストールされていません。第2章 / 第3章にしたがって、ドライバのインストールを行ってから、本製品を接続してください。

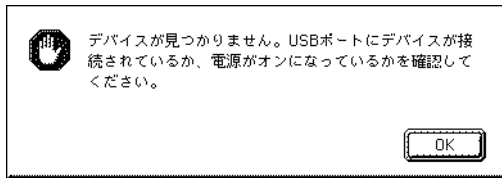
本製品を接続すると、

以下のようなエラーメッセージが表示される。



USB-SCSI変換ケーブルを接続したUSBコネクタが、必要な電流を供給できないことをあらわします。パソコン本体のUSBコネクタに直接接続するか、セルフパワーのUSBハブに接続してください。

付属の専用フォーマッタを起動すると、
以下のようなエラーメッセージが表示される。



本製品、MO/HDユニットの接続状態を確認してください。また、電源表示ランプが点灯しているかどうかを確認してください。
USB ディスクドライバがインストールされているかどうかを確認してください。

本製品に接続されたMOユニットにMOメディアを
セットしたが、MOのアイコンが表示されない。
イジェクトすることもできない。

そのMOメディアは未フォーマットか、サポートしていない形式でフォーマットされています。
付属のフォーマッタを起動して、「取り出し」と書かれたボタンをクリックするとMOメディアを取り出すことができます。

640MB対応のMOユニットを使用しているのに、
特定の640MB MOメディアが認識されない。

そのMOメディアはスーパーフロッピー形式でフォーマットされていませんか？ 本製品に接続したMOユニットでは、スーパーフロッピー形式でフォーマットされた640MB、1.3GB MOメディアを扱うことはできません。(これは「PC Exchange」、「File Exchange」の制限です。)

ハードウェア仕様

機種名		LUB-SC	
インターフェース		USB (Rev 1.0) アイソクロナス転送	
最大データ転送速度		12Mbps *1	
接続可能なSCSI機器		USBネイティブモード	MO/HDユニット
		SCSIエミュレーションモード	MO/HDユニット CD-R/RWユニット
SCSI機器の最大接続台数		USBネイティブモード	1台
		SCSIエミュレーションモード	7台
入力電圧		DC5V ± 5% *2	
消費電流 (最大)		500mA	
環境条件 *3	保管時	温度	-10 ~ 50
		相対湿度	20% ~ 90%
	使用時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20% ~ 80%
ケーブル長		約1.0m *4	
重量		150g	

*1 理論値。

*2 バスパワー。

*3 ただし結露なきこと。

*4 コネクタ部を含む。

Memo

Windows 編

目次

第1章 製品のご紹介	43
1.1 製品概要	43
1.2 使用環境	44
第2章 接続について	46
2.1 SCSI 機器を1台だけ接続する場合	46
2.2 複数のSCSI 機器を接続する場合	49
第3章 ドライバのインストール	53
3.1 Windows XP の場合	53
3.2 Windows Me の場合	57
3.3 Windows 98 の場合	59
3.4 Windows 2000 の場合	63
第4章 補足事項	69
4.1 SCSI 機器別の作業	69
4.1.1 HD ユニットを接続した場合	69
4.1.2 MO ユニットを接続した場合	70
4.1.3 CD-R/RW ユニットを接続した場合	70
4.2 USB-SCSI 変換ケーブルを外す場合は	71
4.3 トラブルシューティング	73
ハードウェア仕様	76

Logitec

第 1 章 製品のご紹介

1 . 1 製品概要

本製品は、各社の DOS/V パソコンおよび日本電気株式会社 PC98-NX シリーズ(どちらも USB コネクタを搭載した機種)に接続できる USB-SCSI 変換ケーブルです。

本製品の特徴

USB対応のパソコン本体に最大7台までのSCSI機器を接続することができます。拡張スロットを持たないスリムデスクトップ・パソコンなどに最適です。

USB-SCSI 変換ケーブルに内蔵された変換回路は、USB コネクタからのバスパワーで動作します。AC アダプタ等が必要ありませんので、すっきりと接続することができます。



ご注意

本製品を接続するUSBコネクタは+5V500mAの電源を供給できるものでなければなりません。バスパワーで動作するUSBハブには、電流量が足りないため接続できません。

1 . 2 使用環境

対応機種

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ

USB コネクタを持ち、下記の対応 OS が動作する機種に限定されます。



ご注意

本製品は日本電気株式会社の PC-9800 シリーズでは使用できません。

対応 OS

マイクロソフト株式会社
Windows XP Home Edition/Professional
Windows Me
Windows 98
Windows 98 Second Edition
Windows 2000 Professional

SCSI 機器

弊社から発売されている SCSI 機器のうち、D-sub ハーフピッチ 50 ピンの SCSI コネクタを持つ HD ユニット、MO ユニット、CD-R/RW ユニットについては本製品との接続が確認されています。



ご注意

上記以外の SCSI 機器についても、順次接続確認が行われています。最新情報については弊社ホームページをご参照ください。(すべての SCSI 機器を確認することは不可能ですので、一部に対応できない機器が存在する可能性があることはご承知おきください。)



ご注意

-
- ・ CD-R/RW ユニットで CD-R/RW メディアに書き込みを行う場合、USB の転送速度が SCSI よりも遅いため、以下のような制限が発生します。
 - ・ 本製品を USB ハブ経由で接続しないでください。パソコン本体の USB コネクタに直接接続してください。
 - ・ 書き込み時には、本製品に CD-R/RW ユニット以外の SCSI 機器を接続しないでください。また、不要な USB 機器はなるべく接続を外しておいてください。
 - ・ 書き込み速度は 2 倍速以下に制限されます。ライティングソフトウェアで 2 倍速を超える速度が表示される場合でも、2 倍速を超える速度は選択しないでください。
 - ・ 書き込み速度が 2 倍速以下であっても、オンザフライ書き込みやオンザフライでの CD のバックアップはできない場合があります。
 - ・ ISO9660 の CD-R/RW 書き込み時などに使用されるイメージファイル保管用のハードディスクは、USB-SCSI 変換ケーブルに接続しないでください。
-

第2章

接続について

USB-SCSI変換ケーブルの接続は、以下のような手順で行います。接続の順番を間違えると、SCSI機器が認識されない場合がありますので、十分ご注意ください。

接続の方法は、「SCSI機器を1台だけ接続する場合」と「複数のSCSI機器を接続する場合」に分けて説明します。

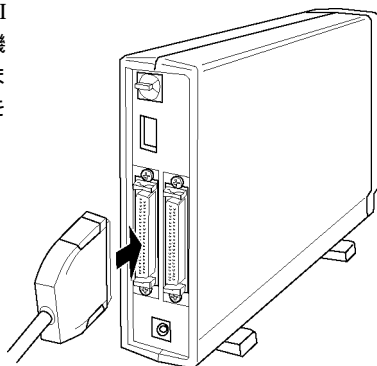
2

2.1 SCSI機器を1台だけ接続する場合

まず最初にSCSI機器の準備をします。

- ・SCSI機器を1台だけ接続する場合は、SCSI機器のIDナンバーを0～6の範囲で任意の番号に設定してください。通常の場合は、出荷時設定のままでもかまいません。
- ・SCSI機器を1台だけ接続する場合は、内蔵ターミネータを「有効」に設定するか、外付けのターミネータを接続してください。

USB-SCSI変換ケーブルのSCSIコネクタ(大きい方)をSCSI機器のSCSIコネクタに接続します。軽く引いて抜けないことを確認してください。



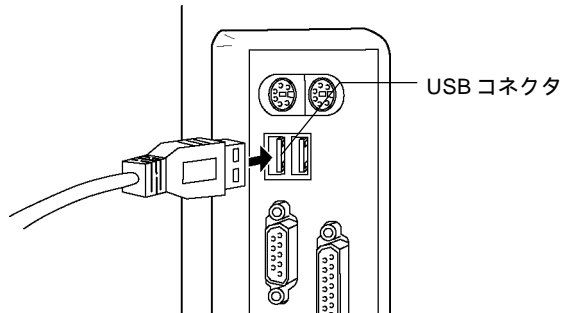


参考

イラストはターミネータ内蔵のSCSI機器の場合です。ターミネータを内蔵していないSCSI機器の場合は、外付けターミネータを接続してください。

SCSI機器の電源コード（もしくはACアダプタ）をAC100Vのコンセントに接続し、SCSI機器の電源をONにします。
SCSI機器の電源表示ランプが点灯することを確認し、アクセス表示ランプが一時的に点灯した場合は、消灯するまで待ってください。

USB-SCSI変換ケーブルのUSBコネクタを、パソコン本体のUSBコネクタに接続してください。このコネクタは正しい方向でしか接続できません。



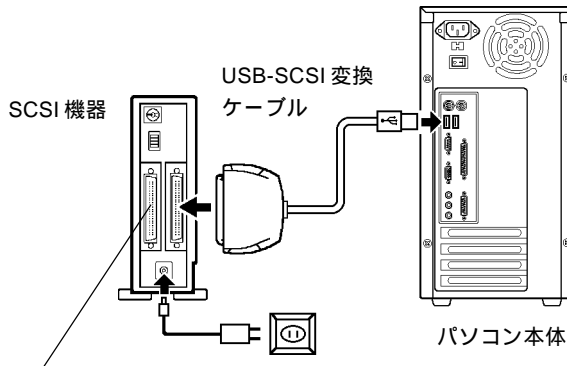
Point

ポイント

USBはホットプラグ機能を持っているため、この時点でパソコン本体の電源はONになっていても、OFFになっていてもかまいません。
ONになっていた場合（Windowsのシステムが起動していた場合）は、この後、第3章/第4章で説明するドライバのインストール作業がすぐに開始されます。

2.1 SCSI 機器を 1 台だけ接続する場合

以上ですべての接続は終了しました。下の接続図と比較して、間違っていないことを確認してください。



ターミネータを内蔵していない SCSI 機器の場合は、ここに外付けターミネータを接続します。

接続の確認ができたなら、この後、ドライバのインストールを行います。第 3 章にお進みください。第 3 章の内容は使用 OS 別に説明されていますので、ご使用の OS にあった部分をお読みください。

2.2 複数の SCSI 機器を接続する場合

まず最初に SCSI 機器の準備をします。SCSI 機器は最大 7 台まで接続することができます。

- ・複数の SCSI 機器を接続する場合は、SCSI 機器の ID ナンバーを 0 ~ 6 の範囲で重複しないように設定してください。
- ・終端 (パソコン本体から最も遠い位置) に接続する SCSI 機器は、内蔵ターミネータを「有効」に設定するか、外付けのターミネータを接続してください。
終端以外の位置に接続する SCSI 機器は、すべてターミネータを「無効」にしてください。
- ・複数の SCSI 機器を接続する場合、SCSI 機器同士を接続する SCSI ケーブルは、SCSI 機器に付属のものをご使用ください。もし SCSI ケーブルが添付されていない場合は、接続する SCSI コネクタの形状にあわせて別途ご用意ください。ケーブル長の合計と SCSI 機器の接続台数は以下の表に従いますが、ケーブル長はなるべく短くなるようにした方が動作が安定します。(ケーブル長には USB-SCSI 変換ケーブルの長さを含みません。)

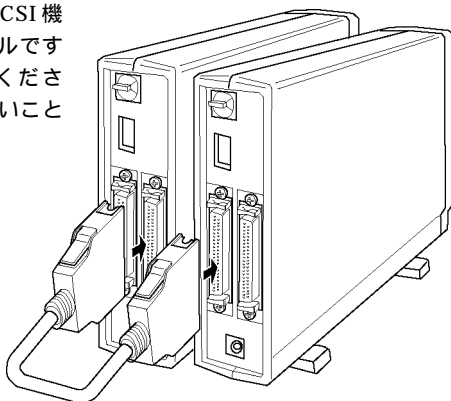
接続台数	ケーブル長の合計
3 台以下	3m以下
4 台 ~ 7 台	1.5m以下



ご注意

接続台数が多い方が条件が厳しくなるため、ケーブル長の合計は短く制限されます。

まず最初に接続する SCSI 機器同士を SCSI ケーブルですべて接続しておいてください。軽く引いて抜けないことを確認してください。

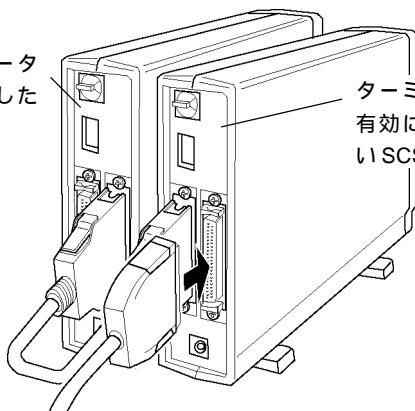


ご注意

- ・イラストはターミネータ内蔵の SCSI 機器の場合です。ターミネータを内蔵していない SCSI 機器の場合は、外付けターミネータを接続してください。
- ・オートターミネーション機能を持つ SCSI 機器の場合は、必ず SCSI IN コネクタが USB-SCSI 変換ケーブルに近い方、SCSI OUT コネクタが終端に近い方になるように接続してください。逆にすると、内蔵ターミネータが正常に制御されません。

USB-SCSI変換ケーブルのSCSIコネクタ(大きい方)をSCSI機器(ターミネータを「有効」にしていない方)のSCSIコネクタに接続します。軽く引いて抜けないことを確認してください。

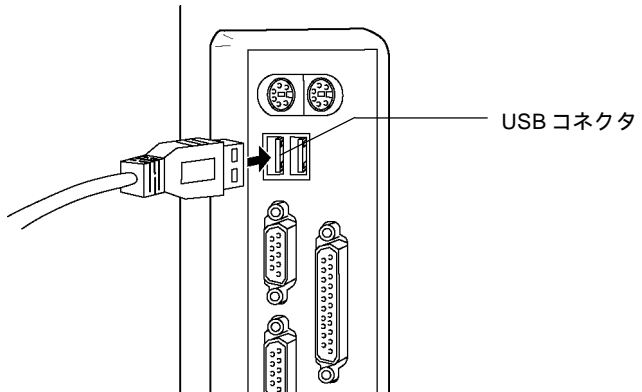
ターミネータを有効にした SCSI 機器



ターミネータを有効にしない SCSI 機器

ここで、すべてのSCSI機器の電源コード（もしくはACアダプタ）をAC100Vのコンセントに接続し、電源をONにしてください。SCSI機器の電源表示ランプが点灯することを確認し、アクセス表示ランプが一時的に点灯した場合は、消灯するまで待ってください。

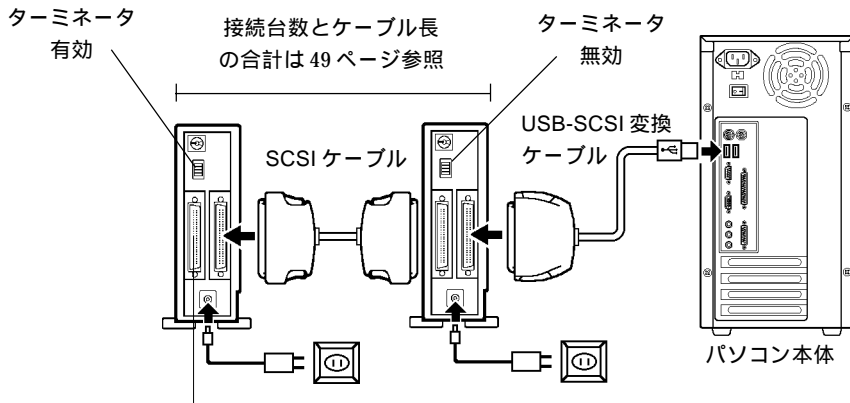
USB-SCSI変換ケーブルのUSBコネクタを、パソコン本体のUSBコネクタに接続してください。このコネクタは正しい方向でしか接続できません。

**Point**

ポイント

USBはホットプラグ機能を持っているため、この時点でパソコン本体の電源はONになっていても、OFFになっていてもかまいません。ONになっていた場合（Windowsのシステムが起動していた場合）は、この後、第3章で説明するドライバのインストール作業がすぐに開始されます。

以上ですべての接続は終了しました。下の接続図と比較して、間違っていないことを確認してください。



ターミネータを内蔵していない SCSI 機器の場合は、ここに外付けターミネータを接続します。

接続の確認ができたなら、この後、ドライバのインストールを行いますので第 3 章に進んでください。第 3 章の内容は使用 OS 別に説明されていますので、ご使用の OS にあった部分をお読みください。

第3章

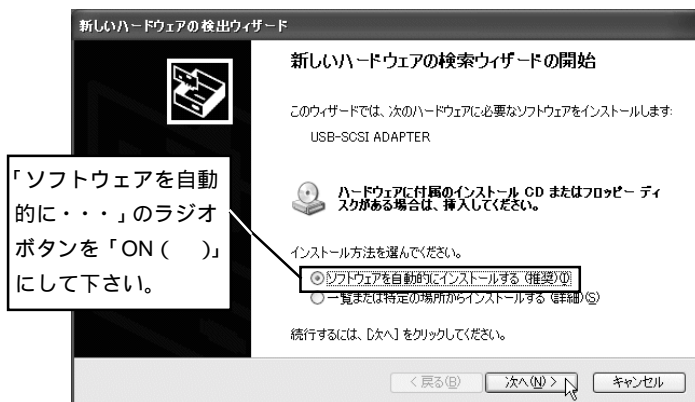
ドライバのインストール

3.1 Windows® XP の場合

接続が完了したら、次に USB-SCSI 変換ケーブルのドライバをインストールします。パソコン本体の電源が OFF になっている状態で接続を行った場合は、パソコン本体の電源を ON にしてシステムを起動後、管理者権限をもつユーザー（例えば「コンピュータの管理者」等）としてログインしてください。（パソコン本体の電源が ON になっている状態で接続を行った場合は、接続の直後にこの作業が開始されます。）

起動中に USB-SCSI 変換ケーブルがプラグ & プレイで認識されます。これから、以下の手順でインストールを行ってください。

「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動します。



本製品付属の「Logitech Ware」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、自動的にドライバに検索が開始されます。

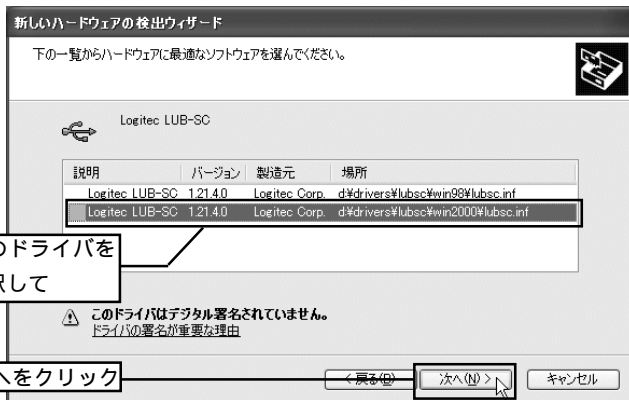
Point

ポイント

しばらくしてもドライバの検索が開始されない場合は「次へ」をクリックしてください。

下のウィンドウが表示されます。

場所が「d:\drivers\lubsc\win2000\lubsc.inf」と表示されている方のドライバを選択して、「次へ」をクリックしてください。



3

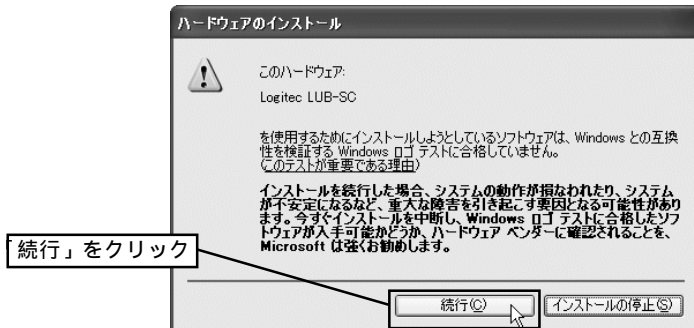
Point

ポイント

「場所」に「d:\drivers\lubsc\win2000\lubsc.inf」と表示されるドライバが正しいものです。「d:\drivers\lubsc\win98\lubsc.inf」と表示されるドライバはWindows Me, 98用です。

ここで、「d:」は「LogitechWare」をセットしたCD-ROMのドライブ名です。ドライブ名は環境により異なります。手順で表示されるドライブ名も同様です。

下のウィンドウが表示されます。

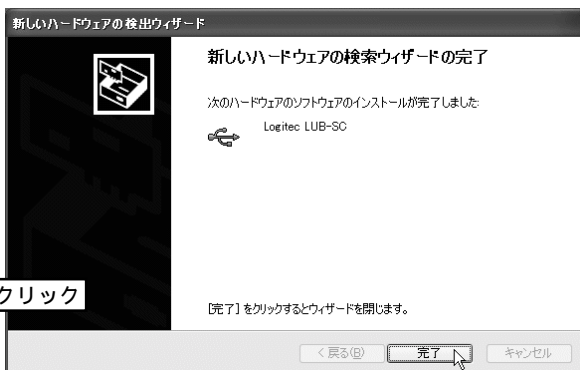




参考

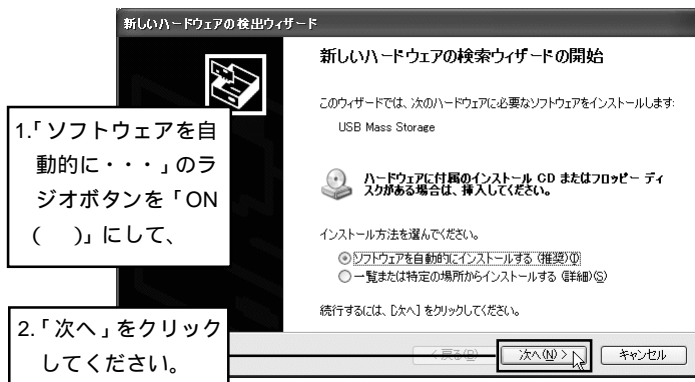
本製品用のドライバは出荷時期の問題から「Windows ログ テスト」を実施しておりませんが、弊社では本ドライバがWindows XP上で動作することを十分に確認して提供しております。そのままインストールしてご使用ください。手順 で示されるメッセージも同様です。

必要なファイルがシステムに転送されて、終了すると以下のウィンドウが表示されます。



「完了」をクリック

再度「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動します。

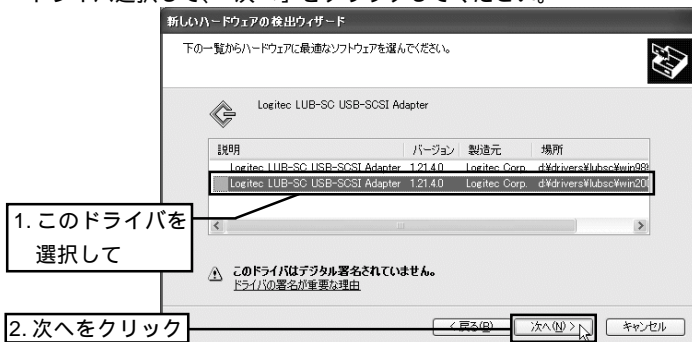


1.「ソフトウェアを自動的に・・・」のラジオボタンを「ON ()」にして、

2.「次へ」をクリックしてください。

下のウィンドウが表示されます。

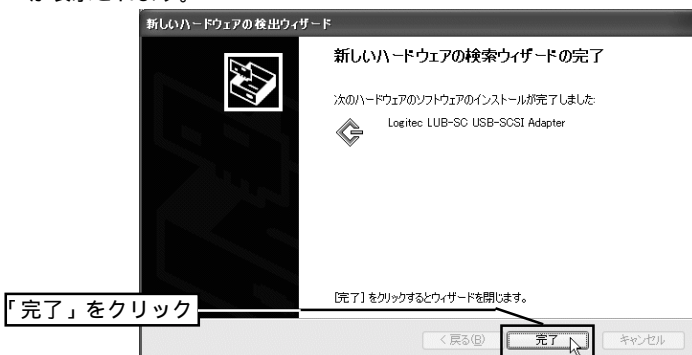
場所が「d:\drivers\lubsce\win2000\lubsce\ex.inf」と表示されている方の
ドライバを選択して、「次へ」をクリックしてください。



下のウィンドウが表示されます。



必要なファイルがシステムに転送されて、終了すると以下のウィンドウが表示されます。



以上でドライバのインストールは終了です。次回からはUSB-SCSI変換ケーブルを接続しただけでUSB-SCSI変換ケーブルが使用可能な状態になります。

3.2 Windows® Me の場合

接続が完了したら、次にUSB-SCSI変換ケーブルのドライバをインストールします。パソコン本体の電源がOFFになっている状態で接続を行った場合は、パソコン本体の電源をONにしてシステムを起動してください。(パソコン本体の電源がONになっている状態で接続を行った場合は、接続の直後にこの作業が開始されます。)

起動中にUSB-SCSI変換ケーブルがプラグ&プレイで認識されます。これから、以下の手順でインストールを行ってください。

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動します。「適切なドライバを自動的に検索する(推奨)」と書かれたラジオボタンがON()になっていることを確認して、本製品付属の「LogitecWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。

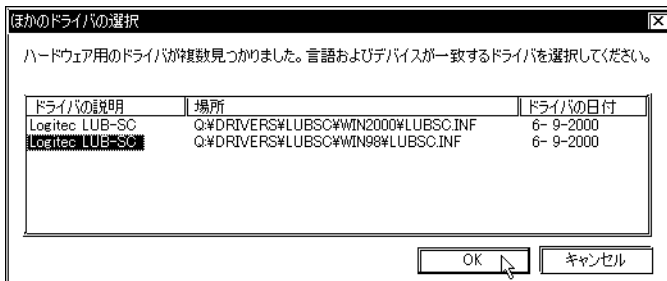


Point

ポイント

ここでCD-ROMの自動挿入機能が有効になっていると、自動的にドライバの検索が開始されますので、に進んでください。しばらく待っても何も起こらない場合は、「次へ」と書かれたボタンをクリックしてください。

検索結果が表示されます。ドライバは2種類表示されますので、「場所」に「Q:\DRIVERS\LUBSC\WIN98\LUBSC.INF」と表示されるドライバを1回クリックして選択し、OK ボタンをクリックしてください。



Point

ポイント

「場所」に「Q:\DRIVERS\LUBSC\WIN98\LUBSC.INF」と表示されるドライバが正しいものです。「Q:\DRIVERS\LUBSC\WIN2000\LUBSC.INF」と表示されるドライバはWindows XP, 2000用です。

指定したドライバがインストールされます。作業が完了すると、以下のウィンドウが表示されますので、「完了」をクリックして、CD-ROMをドライブから取り出してください。



以上でドライバのインストールは終了です。一度ドライバをインストールしておけば、次回からはUSB-SCSI変換ケーブルを接続しただけでUSB-SCSI変換ケーブルが使用可能な状態になります。

3 . 3 Windows® 98 の場合

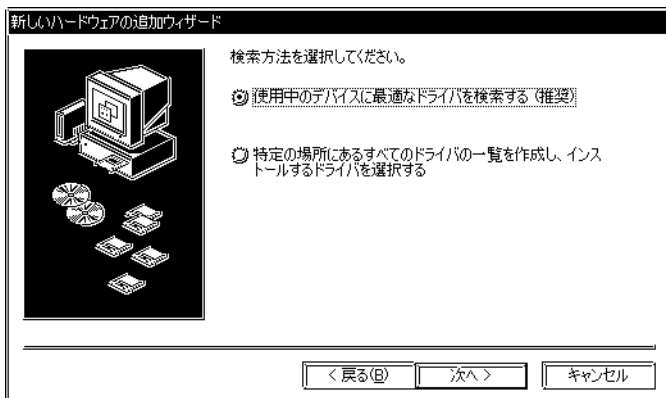
接続が完了したら、次に USB-SCSI 変換ケーブルのドライバをインストールします。パソコン本体の電源が OFF になっている状態で接続を行った場合は、パソコン本体の電源を ON にしてシステムを起動してください。（パソコン本体の電源が ON になっている状態で接続を行った場合は、接続の直後にこの作業が開始されます。）

起動中に USB-SCSI 変換ケーブルがプラグ & プレイで認識されます。ここから、以下の手順でインストールを行ってください。

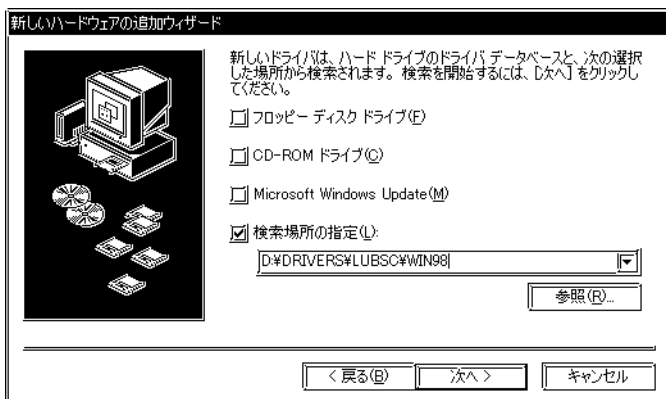
「新しいハードウェアの追加ウィザード」のウィンドウが表示され、「次の新しいドライバを検索しています：USB-SCSI ADAPTER」と表示されますので、「次へ」ボタンをクリックしてください。



「検索方法を選択してください。」と表示されますので、「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」のラジオボタンが「ON()」の状態で、「次へ」ボタンをクリックしてください。



「新しいドライバは、ハードドライブのドライバデータベースと、次の選択した場所から検索されます。」と表示されますので、ここで本製品付属の「LogitecWare」CD-ROMを、CD-ROMドライブにセットします。(まだ「次へ」ボタンはクリックしないでください。)



前ページ下のウィンドウで、「検索場所の指定」のチェックボックスのみがチェックされている状態にしてください。(それ以外のチェックボックスは、チェックを外します。)

さらに「検索場所の指定」のテキストボックスにドライバが保存されているディレクトリ名を以下のように入力して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

d:\DRIVERS\LUBSC\WIN98

ここでドライブ名「d:」には、「LogitecWare」CD-ROMをセットしたCD-ROMドライブのドライブ名を指定してください。

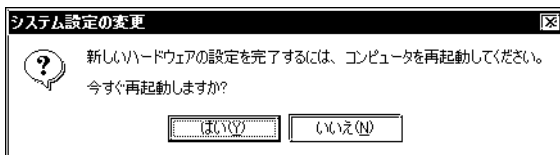
USB-SCSI変換ケーブルのモデル名が表示され、「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。」と表示されますので、「次へ」ボタンをクリックしてください。



必要なファイルが転送されます。転送が終了すると、「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されますので、「完了」ボタンをクリックしてください。



「システム設定の変更」のウィンドウが表示され、「今すぐ再起動しますか?」と表示される場合があります。これが表示されたら、「LogitechWare」CD-ROM を取り出してから、「はい」ボタンをクリックして Windows98 を再起動してください。



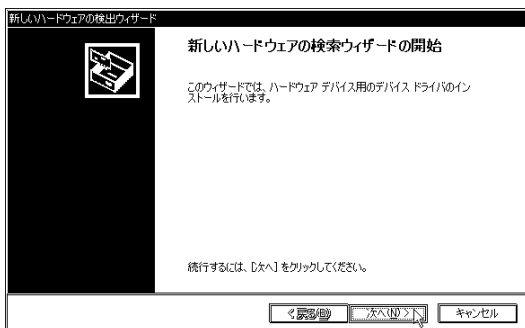
以上でドライバのインストールは終了です。一度ドライバをインストールしておけば、次回からは USB-SCSI 変換ケーブルを接続しただけで USB-SCSI 変換ケーブルが使用可能な状態になります。

3.4 Windows® 2000 の場合

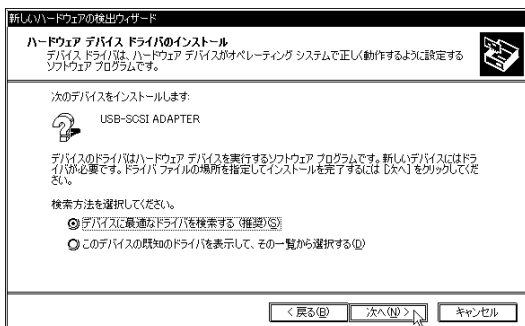
接続が完了したら、次に USB-SCSI 変換ケーブルのドライバをインストールします。パソコン本体の電源が OFF になっている状態で接続を行った場合は、パソコン本体の電源を ON にしてシステムを起動してください。（パソコン本体の電源が ON になっている状態で接続を行った場合は、接続の直後にこの作業が開始されます。）

起動中に USB-SCSI 変換ケーブルがプラグ & プレイで認識されます。これから、以下の手順でインストールを行ってください。

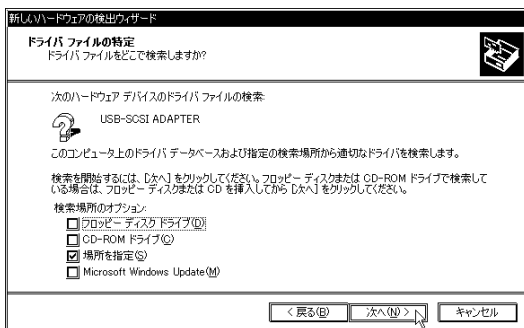
「新しいハードウェアの追加ウィザード」のウィンドウが表示されますので、「次へ」ボタンをクリックしてください。



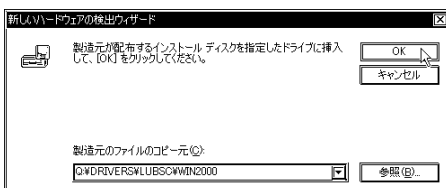
「検索方法を選択してください。」と表示されますので、「デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)」のラジオボタンが「ON ()」の状態で、「次へ」ボタンをクリックしてください。



以下のウィンドウが表示されたら、「場所を指定」のチェックボックスだけにチェックマークを付けた状態で「次へ」ボタンをクリックしてください。



以下のウィンドウが表示されたら、本製品付属の「LogitecWare」CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットします。

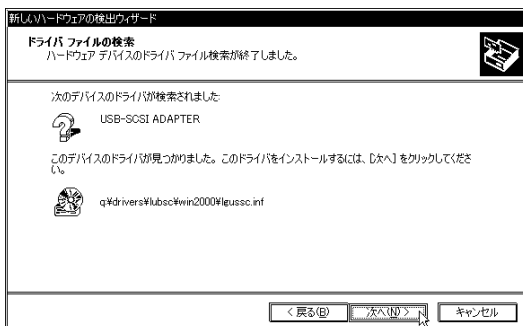


さらに「製造元のファイルのコピー元」のテキストボックスにドライブが保存されているディレクトリ名を以下のように入力して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

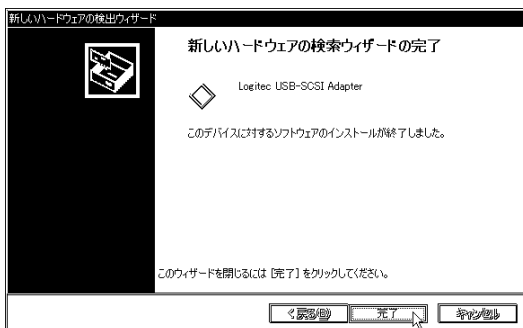
d:\DRIVERS\VLUBSC\WIN2000

ここでドライブ名「d:」には、「LogitecWare」CD-ROM をセットしたCD-ROM ドライブのドライブ名を指定してください。

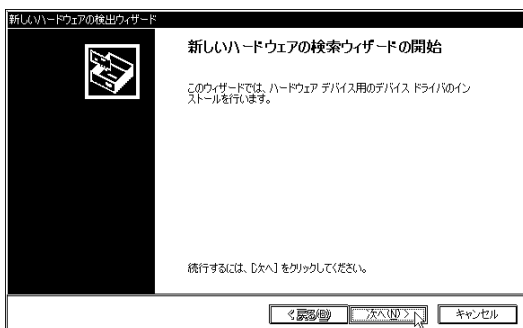
以下のウィンドウが表示されますので、「次へ」ボタンをクリックしてください。



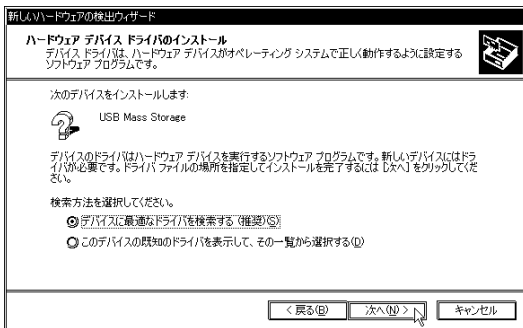
必要なファイルが転送されます。転送が終了すると以下のウィンドウが表示されますので、「完了」ボタンをクリックしてください。



続いて本製品のストレージクラスデバイスが認識されます。以下のウィンドウが表示されますので、「次へ」ボタンをクリックしてください。



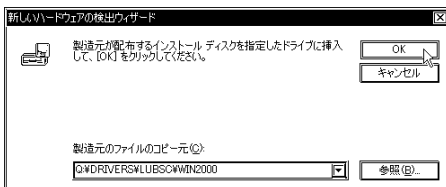
「検索方法を選択してください。」と表示されますので、「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」のラジオボタンが「ON ()」の状態、「次へ」ボタンをクリックしてください。



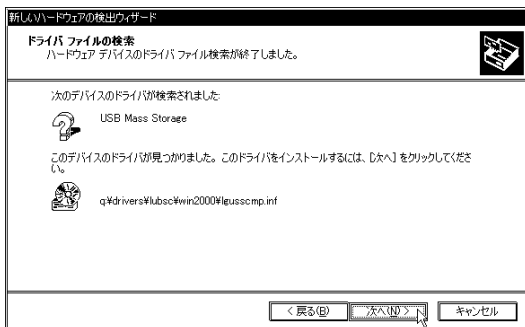
以下のウィンドウが表示されたら、「場所を指定」のチェックボックスだけにチェックマークを付けた状態で「次へ」ボタンをクリックしてください。



以下のウィンドウが表示されたら、と同じ内容が「製造元のファイルのコピー元」のテキストボックスに表示されていることを確認して、OK ボタンをクリックしてください。



以下のウィンドウが表示されますので、「次へ」ボタンをクリックしてください。



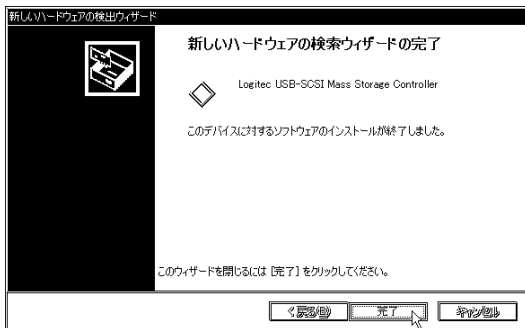
以下のウィンドウが表示されたら、「はい」ボタンをクリックしてください。



参考

本製品用のドライバは「Microsoft デジタル署名」を取得していませんので、上記のウィンドウが表示されますが、弊社では本ドライバの十分なテストを行い、Windows 2000上で正常に動作することを確認して提供しています。

必要なファイルが転送されます。転送が終了すると以下のウィンドウが表示されますので、「完了」ボタンをクリックしてください。



3

以上でドライバのインストールは終了です。一度ドライバをインストールしておけば、次回からは USB-SCSI 変換ケーブルを接続しただけで USB-SCSI 変換ケーブルが使用可能な状態になります。

第4章 補足事項

4.1 SCSI 機器別の作業

ここでは USB-SCSI 変換ケーブルに接続した SCSI 機器の種類別に、ドライバのインストール後の作業を説明します。

4.1.1 HD ユニットの接続した場合

HD ユニットの接続した場合は、新規接続した HD ユニットのフォーマットを行わなければなりません。

Windows Me, 98 の場合

付属の「LogitechWare」CD-ROMから「ディスクユーティリティ」をインストールし、その中の「ディスクフォーマット」でフォーマットを行ってください。

Windows XP, 2000 の場合

管理者権限を持つユーザーとしてログオンして、Windows 標準のユーティリティ「ディスクの管理」でフォーマットを行ってください。

「ディスクの管理」を表示するには、「マイコンピュータ」を右クリックして、表示されるメニューから「管理」を選択します。「コンピュータの管理」のウィンドウが表示されたら、ツリーから「記憶域」の下の「ディスクの管理」を選択してください。

4 . 1 . 2 MO ユニットの接続した場合

MOユニットを接続した場合は、本製品のドライバがインストールされると、「マイコンピュータ」にリムーバブルディスクのアイコンが追加されます。

MOユニットにフォーマットされたMOメディアをセットして、リムーバブルディスクのアイコンをダブルクリックすると、MOメディアにアクセスすることができます。MOメディアのフォーマットは付属の「Logitech Ware」CD-ROM に保存されたユーティリティで行います。

Windows Me , 98 の場合

「LogitechWare」CD-ROM から「ディスクユーティリティ」をインストールし、その中の「ディスクフォーマッタ」でMOメディアのフォーマットを行ってください。

Windows XP , 2000 の場合

「LogitechWare」CD-ROM から「ディスクユーティリティ」をインストールし、その中の「MOメディアフォーマッタ」でMOメディアのフォーマットを行ってください。

4 . 1 . 3 CD-R/RW ユニットの接続した場合

CD-R/RWユニットを接続した場合、本製品のドライバがインストールされると、「マイコンピュータ」にCD-ROMのアイコンが登録されます。CD-ROMの読み出しを行いたい場合は、CD-R/RWユニットにCD-ROMをセットして、このアイコンをダブルクリックしてください。

CD-ROMの読み出しができることを確認したら、CD-R/RWユニット付属のライティングソフトウェアをインストールしてください。手順についてはライティングソフトウェアのマニュアルをご参照ください。

4 . 2 USB-SCSI 変換ケーブルを外す場合は

USB-SCSI変換ケーブルはホットプラグに対応していますが、いつでも取り外しが可能なわけではありません。以下のような場合にUSB-SCSI変換ケーブルを取り外すと、データが失われたり、システムがハングアップする危険性があります。

- ・ USB-SCSI 変換ケーブルで接続した SCSI 機器がアクセス中の場合（アクセス表示ランプが点灯中の場合）。
- ・ アプリケーションなどから、USB-SCSI 変換ケーブルで接続した SCSI 機器に保存されたファイルを開いている場合。
- ・ USB-SCSI 変換ケーブルで CD-R/RW ユニットの接続している環境で、ライティングソフトウェアを起動している場合。

また、MOユニットやCD-R/RWユニットを接続した場合は、USB-SCSI変換ケーブルを取り外す前に、メディアを取り出しておいてください。

以上のような点に問題がないことを確認したら、以下の手順でUSB-SCSI変換ケーブルを取り外してください。

USB-SCSI 変換ケーブルの USB コネクタを取り外します。

各 SCSI 機器の電源を OFF にします。

Windows Me , 98 の場合

必要に応じて、USB-SCSI変換ケーブルのSCSIコネクタ、および各SCSI機器を接続しているSCSIケーブルを外してください。

Windows XP , 2000 の場合

本製品を接続するとタスクバーのシステムトレイに表示される以下のアイコンをクリックし、表示されるメニューから、Windows XP では「Logitec USB-SCSI Adapter - ドライブ (E:) を安全に取り外します」を選択します。

この項目を選択します



このアイコンをクリックします

Windows 2000 では「Logitec USB-SCSI Mass Storage Controller - ドライブ (d:) を停止します」を選択します。

この項目を選択します



このアイコンをクリックします

ポイント

ここで「E:」「d:」は本製品に接続された SCSI 機器のドライブ名ですので、環境によって異なります。また、表示されない場合もあります。

Windows XPでは本製品を取り外しても良いというメッセージが表示されたらUSB-SCSI変換ケーブルのUSBコネクタを取り外してください。(このメッセージは一定時間表示されたら自動的に消えますので特に操作をする必要はありません。)

Windows 2000では以下のウィンドウが表示されたら、OK ボタンをクリックし、USB-SCSI変換ケーブルのUSBコネクタを取り外します。



各 SCSI 機器の電源を OFF にします。

必要に応じて、USB-SCSI 変換ケーブルの SCSI コネクタ、および各 SCSI 機器を接続している SCSI ケーブルを外してください。

4.3 トラブルシューティング

USB-SCSI変換ケーブルを接続しても、
ドライバのインストールが開始されない。

USB-SCSI変換ケーブルのUSBコネクタに接触不良などがないかどうか確認してください。

接続にUSBハブを使用している場合は、パソコン本体のUSBコネクタにUSB-SCSI変換ケーブルを直結して試してみてください。これで問題ない場合は、USBハブに原因があります。そのUSBハブはバスパワー(+5V 500mA)を供給できるタイプですか？バスパワーを供給できないUSBハブは使用できません。

一部のパソコン本体では、USBポートから規定通りにバスパワーが供給できない場合があります。このような場合には、USBポートと本製品の間にバスパワー供給可能なUSBハブを接続すると正常に動作することがあります。

ご使用のOSがWindows Me, 98, 2000であることを確認してください。

BIOSセットアップでUSBが「Disabled」(無効)になっていないかどうか確認してください。

一般的にUSBが使用可能な状態にあるかどうかを確認したい場合は、「デバイスマネージャ」を起動してください。(Windows Me, 98の場合は「コントロールパネル」「システム」を起動して、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。Windows XP, 2000の場合は「マイコンピュータ」を右クリックして「管理」をクリックすると「コンピュータの管理」が表示されますので、「デバイスマネージャ」をクリックしてください。)

接続されている機器の一覧表が表示されたら、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」と書かれた部分をダブルクリックして開き、そこにコントローラの名前と「USBルートハブ」が登録されているかどうかを確認してください。

この2つが正常に登録されていれば、USBは使用可能な状態にあります。この2つのどちらかがない場合、「！」マークや「x」マークがついている場合、もしくは「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」自体がない場合は、パソコン本体やOSの問題でUSBが使用できない状態にあります。

Windows XPでドライバのインストール時、
「Windows ログテスト」から先に進めない。

Windows XPの「ドライバ署名オプション」が初期状態から書きかえられていると、このような現象が発生します。この設定は「コントロールパネル」「パフォーマンスとメンテナンス」「システム」「ハードウェア」タブ「ドライバの署名」ボタンで変更できますが、システム管理者によってこの設定が行われている場合は、システム管理者にご相談ください。

Windows 2000でドライバのインストール時、
「Microsoft デジタル署名」から先に進めない。

Windows 2000の「ドライバ署名オプション」が初期状態から書きかえられていると、このような現象が発生します。この設定は「コントロールパネル」「システム」「ハードウェア」タブ「ドライバの署名」ボタンで変更できますが、システム管理者によってこの設定が行われている場合は、システム管理者にご相談ください。

USB-SCSI変換ケーブルで接続した
SCSI機器が認識されない。

SCSI機器の電源がONになっていることを確認してください。
ケーブル(USB-SCSI変換ケーブル、SCSIケーブル)の接続に、接触不良などがないかどうかを確認してください。

IDナンバーは重複していませんか？ 併用しているSCSI機器間でIDナンバーを確認してください。また、本製品はIDナンバー「7」を使用しています。SCSI機器は「0」～「6」の範囲で設定してください。

ターミネータは正しく設定/接続されていますか？

そのSCSI機器はハードディスクではないですか？ ハードディスクはフォーマットが終了するまで、「マイコンピュータ」に登録されません。

複数のSCSI機器を接続している場合、認識されないSCSI機器だけを接続して試してみてください。これで正常に認識される場合、SCSIケーブルのケーブル長が長すぎるなどの原因が考えられます。また、それでも正常に認識されない場合は、そのSCSI機器自体の故障が考えられます。

CD-R/RWユニットで書き込みエラーが頻発する。

2倍速を超える速度で書き込みをしようとしていませんか？ USBはSCSIよりも転送速度が遅いため、CD-R/RWユニット自体が4倍速以上の書き込みに対応していても、USB-SCSI変換ケーブルを使用した接続では書き込み速度が2倍速以下に制限されます。

書き込み時にCD-R/RWユニット以外をUSB-SCSI変換ケーブルに接続し、それをアクセスしようとしていませんか？ 特にイメージファイル保存用のハードディスクをUSB-SCSI変換ケーブルに接続してはいけません。

USB-SCSI変換ケーブルをUSBハブ経由で接続している場合は、USB-SCSI変換ケーブルをパソコン本体のUSBコネクタに直結して試してみてください。

ときどきエラーが発生するなど、

SCSI機器の動作が安定しない。

ターミネータは正しく設定/接続されていますか？

複数のSCSI機器を接続している場合、SCSIケーブル(SCSI機器同士を接続するケーブル)のケーブル長は長すぎませんか？ また、インピーダンスの低いケーブルを使用していませんか？ 可能であればSCSIケーブルを交換して試してみてください。

複数のSCSI機器を接続している場合、接続の順番を変更してみると安定する場合もあります。

その他

SCSI機器のマニュアルには、その機種に特有のトラブルシューティングが掲載されている場合もありますので、そちらもご参照ください。

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>

ハードウェア仕様

機種名		LUB-SC	
インターフェース		USB (Rev 1.0) アイソクロナス転送	
最大データ転送速度		12Mbps *1	
接続可能なSCSI機器		MOユニット、ハードディスクユニット CD-R/RWユニット	
SCSI機器の最大接続台数		7台	
入力電圧		DC5V ± 5% *2	
消費電流 (最大)		500mA	
環境条件 *3	保管時	温 度	-10 ~ 50
		相対湿度	20% ~ 90%
	使用時	温 度	10 ~ 35
		相対湿度	20% ~ 80%
ケーブル長		約1.0m *4	
重 量		150 g	

*1 理論値。

*3 ただし結露なきこと。

*2 バスパワー。

*4 コネクタ部を含む。

